

復刻版 電子書籍シリーズ

# 近代日本人名録 e-BOOK 復刻叢書

2020年6月 発売

(『KinoDen』『Maruzen eBook Library』『EBSCO eBooks』に搭載)

## 明治・大正を網羅する研究者総覧

### 『日本現今人名辞典』

(日本現今人名辞典発行所、明治36年) 参考価格 25万円+税

### 『帝国大学出身名鑑』

(校友調査会、昭和7年) 参考価格 25万円+税

### 『(大正天皇) 銀婚記念 大日本人物史』

(大日本人物史編纂社、大正14年) 参考価格 12万円+税

### 『大日本博士録(全5巻)』

(発展社、大正10年) 参考価格 27万円+税

注) 実際の販売価格は、掲載した参考価格に各社ごとにプラットフォーム利用料が  
上乘せられる場合があります。販売価格は、それぞれ各プラットフォームの取扱  
販社までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局** TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

復刻 近代日本人名録  
日本現今人名辞典—五十音順目次付き

セット定価148,500円(本体135,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2918-2 セット



9784816929182

2022.2

# 現代に蘇る明治の人名辞典

五十音順の人名目次を付し、使いやすく復刻!



五十音順



五十音順目次付き

日本現今人名辞典

復刻 近代日本人名録



可亭



B5・2分冊

セット定価148,500円(本体135,000円+税10%)

2022年4月刊行

ISBN978-4-8169-2918-2

日外アソシエーツ

本書の特徴

「五十音順目次」を新たに作成・追加。現代人には使いづらい「いろは順」の本文を引きやすくしました。

「五十音順目次」では旧字体を新字体に変換。本文には新たに通しページを記載し、格段に使いやすくなりました。

菊判1600ページ1冊の底本を、B5判に拡大。2分冊にして読みやすく改めました。「五十音順目次」も各分冊についています。

▼『復刻 近代日本人名録 日本現今人名辞典 - 五十音順目次付き』五十音順目次見本

五十音順目次

相川規一	下480・あノ四十二	青木大三郎
藍川清成	下481・あノ四十三	青木坦平
相川豊男	下480・あノ四十二	青木恒三郎
相川平三郎	下480・あノ四十二	青木信光
相沢清六	下481・あノ四十三	青木松蔵
相沢東十郎	下481・あノ四十三	青木芳松
愛沢寧堅	下439・あノ一	青地雄太郎
合田梅太郎	下481・あノ四十三	青柳栄司
合田熊太郎	下481・あノ四十三	青柳条三郎
合田重太郎	下481・あノ四十三	青柳俊作
相原平八	下480・あノ四十二	青柳四郎
饗庭喜右衛門	下440・あノ二	青柳信五郎
饗庭篁邨	下440・あノ二	青柳新兵衛
青木英二	下452・あノ十四	青柳清兵衛
青木乙松	下451・あノ十三	青柳忠次
青木華谷	下451・あノ十三	青山市郎平
青木金七	下452・あノ十四	青山久四郎
青木孝	下450・あノ十二	青山源一
青木七郎	下452・あノ十四	青山幸宜
青木周蔵	下452・あノ十四	青山胤通
青木庄太郎	下452・あノ十四	青山鼎之助

本書底本の概要

『日本現今人名辞典』 日本現今人名辞典発行所

戦前期を代表する人名録。皇族10人をはじめ、あらゆるジャンルの人物を含む1万人を収録。人名の読みはもちろん、主な人物の写真の他、文人には書跡も掲載した、菊判、1,600ページにも及ぶ大部な人名録。底本は明治33年(1900)刊行の初版を増補した明治36年(1903)刊行の第3版。

し内務技師となり保健課長、防疫課長、警務課長等に歴任し正七位勲六等に叙せられ又臨時検疫事務官に擧げられ衛生局に勤務す左職年能く事務に通曉す三十二年長谷川局長と意見を異にして退職せり方今大日本衛生會々評議員たり(東京市麹町區飯田町三ノ二〇)

●やぎもと、たきざぶらう 柳本瀧三郎

君は岡山縣の實業家なり方今株式会社井原銀行頭取及び井原物産株式會社社長にして又株式會社岡山縣農工銀行中備製糸株式會社並に井原製菓會社會社取締役なり(備中國後月郡井原村)

●やぎ、せいばち 八木 清八

君は京都の呉服染絹紋附祝儀小袖羽織類商水清なり(所三五圓餘、營五七圓餘、京都市下京區五條室町東入醜町一〇)

●やぎ、せんのすけ 八木千之助

君は奈良の酒造家なり現に海外貿易株式會社常務取締役にして又大阪船渠株式會社取締役たり(營五〇圓餘、大和國奈良市高畑町、大阪市北區堂島船大工町二二)

●やしほ、ろくらう 八代 六郎

君は海軍武官なり夙に海軍に籍し累進して海軍大尉に陞り二十七年の役職合艦隊參謀として各地の戰陣に従事し凱旋後勲六等功五級に叙し金鷄勳章を賜ふ廿九年十月少佐に任じ從六位に叙し露國公使館附に補せらる在動中々佐に陞任し三十二年歸朝後艦副長等に補せらる後正六位に進み宮古艦長たり(東京市麻布區永阪町一)

●やしほ、にへる 矢代仁兵衛

君は京都の西陣織物御商なり中譽田屋と稱す(所六圓餘、營二六圓餘、京都市上京區室町二條下ル、電停四一八)

●やしほ、よしを 屋代 善夫

君は前橋の醫なり前橋藩士屋代尙親氏の男文久元年三月生る明治十年外國語學校を歴て大學豫備門に入り獨乙學を修む廿年東京大學醫科大學を卒業して醫學士の稱號を受領し北海道廳立札幌病院副院長となり廿九年辭して歸京し屋代醫院を設立し診療に従事す(今今に及ぶ(群馬縣前橋市宇堀川町一))

●やしほ、よしのり 屋代 由徳

君は海軍武官なり舊高瀬藩士元治元年六月生る本姓堀越后矢代家に養はる明治十六年海軍兵學校を卒業し海軍少尉を歴て十九年海軍中尉に任じ十二年大尉に進み次て正七位に叙す日清の役黄海以下海戦及び各港攻撃に従事し後臺灣基隆砲臺に與りて功あり功五級勲六等に叙し金鷄勳章及び單光旭日章を賜はる後鎮遠砲臺長に轉す後今正六位勲五等海軍中佐に累進し海軍兵學校砲術教官たり(東京市芝區白金臺一ノ四五)

●やしほ、たきざぶらう 屋代多三郎

君は東京の呉服太物商なり「あまさげや」と稱す(營九六圓餘、所一九圓餘、牛込區市ヶ谷田町二ノ一四、電番一二五)

●やしほ、へいざう 屋島 平造

君は株式取引所仲買なり又方今東京商品取引所及び横濱米鹽雜穀取引所監査役たり(所三九圓餘、營六圓餘、東京市日本橋區兜町四電番五九七)

●やしほ、とみきち 矢島 富吉

君は甲府市の製絲家なり矢島榮助氏の長男明治二年二月生る家世々製絲を業とす十七年山梨縣中學校に入り後東京神田公立學校に轉し修學三年尋て早稲田專門學校に轉し在學一ヶ年半にして歸宅す爾來父業を補佐し廿二年家督を繼承し専ら世業に従事し、あり(所六九圓餘、地二八圓餘、山梨縣甲府市綠町)

●やしほ、かじこ 矢島 揖子

女史は女子教育家なり熊本の人矢島直明氏の七女天保五年四月肥後國木山村に生る夙に上京して和漢學を修め身を宗教に委れ新築學校、櫻井女學校等に教鞭を執り専ら女流の矯風を以て自任し明治廿四年女子學院の創立に幹旋し遂に其院主となり又矯風會頭に推さる今尚ほ鏗鏘として前記の業務に執筆しつゝあり其宏量拾容なる人をして餘るに敬慕を表せしむ(東京市麹町區上二番町三三)

